

(別記様式第3号)

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1206号	氏名	常岡 伯紹
論文審査担当者		主査教授	永山 雄二
		副査教授	関根 一郎
		副査教授	永安 武
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、胆道再建術後の逆流性胆管炎に伴う発癌に対する選択的cox2阻害剤 etodolac の予防効果を動物実験で明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 上記目的のため、胆管空腸吻合による胆道再建術に発癌物質であるBOPを加えたハムスター胆管癌モデルを用い、かつ病理像・胆道上皮増殖能・組織中PGE2測定などを指標として解析した方法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、etodolacはPGE2産生・胆管炎スコア・胆管上皮細胞増殖を抑制し、さらに胆管癌の発生率・発生個数と腺腫の発生個数を有意に低下させることを見出し、etodolacの発癌予防効果を明らかにした点は非常に優れており、今後の進展・特に臨床応用への展開が期待される。</p> <p>以上のように本論文は、胆管再建術後の発癌に対する予防法の開発に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。